

一 般 質 問 通 告 書

令和7年 2 月 12 日

前
午 8 時 51 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和7年 2 月 12 日

湖西市議会議長 馬場 衛 様



湖西市議会議員 竹内祐子 印

質 問 方 式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	人口減少対策について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	人口減少対策について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 50 年前から少子化は始まっていた。人口減少社会は 20 年前から始まっていた。湖西市では 2005 年 (H. 17 年) に人口 60,994 人がピークで、その後は人口が減り続けている。(R6. 4. 1 57,793 人) 人口対策として「移住定住促進事業」、「子育て支援事業」を進めてきているが、どこの市町も同じようなことを行い移住・定住者を獲得に汗を流している。 出生数については、2013 年度は 500 人/年だったが、2017 年度からは 400 人/年を割り R5. 1. 1～R5. 12. 31 の 1 年間には 322 人の出生だった。出生の減少理由は、非婚化・晩婚化、女性の社会進出、非正規雇用の拡大、育児に対する経済的負担が大きい等の理由である。 人口減少社会は経済を大きくすることが難しくなる。再配置計画の推進やインフラ整備、各種計画をスムーズに進めていかなければ住民福祉は守られていかない。また、地域住民の交流も希薄となり地域コミュニティの危機を感じる時代である。人口確保がまちづくりの要と考える。 (質問の目的) 若者や女性が住みたいまち、仕事も子育ても両立でき地域との絆が深まるまちを目指すため (質問事項) 1. 「移住定住促進事業」の評価を伺う。 2. 「子育て支援事業」の評価を伺う。 3. 若者や女性を市外へ流出させない方策を伺う。 4. 仕事も子育ても両立できるために市内企業への支援や働きかけの状況や今後の考えを伺う。 5. 地域担当職員の設置についての進捗状況及び地域コミュニティを維持し、若者が自治会活動や地域に参加する仕組みについて伺う。 6. 人口を減少させない新たな考えを伺う。	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

2025年 2月 21日

前

午後 0時 49分 受付

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和7年2月21日

湖西市議会議長 馬場 衛 様



湖西市議会議員 竹内 祐三 印

質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
2	施政方針について

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
2	施政方針について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 施政方針の中で、 1. 「地域医療の要である湖西病院の経営改善を一層進めていきたいと考えています。昨今の物価高騰、人件費上昇の影響を受け、病院経営は非常に厳しい状況ではありますが、昨年度策定しました経営強化プランを実行するとともに、市長部局も一体となり市民が安心して医療を受けられるよう取り組んでまいります。」 2. 「農業分野においては、県や湖西用水土地改良区と連携し、過去に整備した農地を現在の農業に適した形へと再整備します。」と述べられました。 (質問の目的) 湖西市の課題をどう捉えどのように改善するか、4年という任期でのプランを確認するため (質問事項) 1. 市長部局も一体となり病院経営改善をするようですが、どんな課題についてどう関わりどのような病院像を目指されるのか伺う。 2. 農業分野では県や湖西用水土地改良区と連携し、過去に整備した農地の再整備をするということですが、具体的にはどのようにされるのか伺う。	

一 般 質 問 通 告 書

令和7年2月12日

前
午8時55分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和7年2月12日

湖西市議会議長 馬場衛 様

湖西市議会議員 加藤治司

(署名又は記名押印)

質 問 方 式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁
番号	主 題
1	環境センター焼却炉再稼働後の状況について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
	環境センター焼却炉再稼働後の状況について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 湖西市は資源循環型社会を目指して、一般廃棄物処理基本計画を作成しているが、令和6年度は「浜松市への可燃ごみ処理委託終了に伴う環境センター焼却施設の再稼働」「プラマーク品、剪定枝・竹・草、白色トレイの可燃ごみ化」「ごみ出しルールの変更」等の大きな変革があった。 (質問の目的) 環境センター焼却炉再稼働後の状況確認のほか、効率的・安定的な廃棄物処理体制の確保と、さらなるごみ減量化・資源化活動の推進を図るため。 (質問事項) 1. ごみ焼却炉故障に伴う、ごみ収集業務の遅れがあった場合の危機管理体制を伺う。 2. 焼却炉は仕様書どおりに稼働しているか、問題発生の有無を伺う。 3. プラマーク品、白色トレイの可燃ごみ化は、焼却炉安定稼働のために高カロリー助燃材が必要である為とのことだが、実際にうまく稼働出来ているのか、その効果を伺う。 4. ゴミ出しルールの変更(排出日・ごみステーション・45Lごみ袋新設等)に伴う問題の発生状況とその対策内容を伺う。 5. 湖西市一般廃棄物処理基本計画について、可燃ごみの分類や焼却施設の再稼働により、一人当たりごみ排出量・最終処分量・資源化率のデータ取得条件が変化した為、今までの目標値と活動内容を見直して、ごみの減量化・資源化活動を推し進める必要があるが、市の考えを伺う。 以上	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

R7 年 2 月 12 日

前
午 9 時 3 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

R7 年 2 月 12 日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員

(署名又は記名押印)



質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	持続可能な公共交通と交通空白地域の解消に向けて
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	持続可能な公共交通と交通空白地域の解消に向けて
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 政府は、バスや鉄道の駅が近くになく、タクシーの配車が 30 分以内に困難な地域や、運行本数が少ない地域を「交通空白地域」と定義しています。こうした地域では、住民が暮らしにくいばかりか、観光客の減少にもつながり、地域の活力維持の観点からも課題となっています。近年では、交通空白地域の解消が地域創生の重要な要素として注目されています。 湖西市においても、路線バスの減便・廃止により、住民や来訪者が必要とときに公共交通を利用できない状況が発生しています。また、学校の統廃合による公共交通需要の増加や、商業施設の統廃合・撤退に伴い、食料品を販売する店舗までの距離が遠くなるといった問題も生じています。 市内には「コーちゃんバス」「コーちゃんタクシー」がありますが、高齢者にとってバス停までの距離が遠い、運行本数が少ないなど、生活の足として十分に機能していないとの声があります。「運行本数が少ない」「自宅からバス停が遠い」「行きたい場所にバス停がない」といった住民のニーズに応える必要があります。 また、高齢者をはじめとする交通弱者への利便性の高い移動手段の提供と、ドライバー不足への対応も求められています。加えて、公共交通を利用していなかった新たな層の利用を促し、持続可能な地域公共交通の構築を進めることが重要です。 国土交通省は「交通空白解消本部」を設置し、自治体の交通空白解消への取り組みを支援しています。湖西市においても、「公共ライドシェア」の導入やデマンド交通の拡充など、早急な対応が求められます。 (質問の目的) 湖西市に交通空白地域を作らないことを目指し、住民の生活の質を確保するために、公共交通の維持・向上を図ることを目的とします。	

(質問事項)

1. 今後の湖西市における公共交通の拡充について、具体的な考えをお聞かせください。
2. AI を活用した公共交通の整備について、現状の進捗状況を、伺います。
3. 市内に交通空白地域があると認識し、また市としての具体的な交通空白地域の定義は決まっているのか、伺います。
4. 湖西市における「公共ライドシェア」の進捗状況を、伺います。
5. 湖西市として、公共交通機関の利用促進策をどのように進めるのか。また、将来的に利用者が大幅に増加した場合の対応について、伺います。
6. 観光と公共交通の連携について、考えをお聞かせください。
7. 湖西市がより住みやすく、魅力的な地域となるために、公共交通の整備をどのように進めるべきか、市長の考えをお聞かせください。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 2 月 2 5 日

前
午 11 時 50 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 7 年 2 月 2 5 日

湖西市議会議長 馬場 衛 様



湖西市議会議員

福永 桂子 印

(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
2	市長施政方針について

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
2	市長施政方針について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 「ハイキングの名所となっている湖西連峰については、危険木の伐採などのコースの整備やベンチの設置を行い、自然歩道をより使いやすいものとし、来訪者の増加を目指していきます。」との発言がありました。また、「北部地区の小中学校の再編については、現在策定中の学校再編基本計画【北部地区】に基づき、再編先となる湖西中学校、岡崎中学校の改修設計を進めるとともに、通学路の安全対策や通学手段などについても具体的な検討を行います。」とも発言されています。これらの施策を実行するにあたり、市長のお考えを確認したいと思います。 (質問の目的) 湖西市をより暮らしやすく、魅力的で活力のあるまちとするため、施策の進め方をお聞きします。 (質問事項) 1. 湖西連峰のハイキングコースについて、来訪者を増やすにあたり資源の磨き上げのお考えをお聞きします。 2. 北部地区の小中学校再編について、計画を進めるうえで住民の声を確認するお考えはあるのかお聞きします。	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和7年 2 月 12 日

前
午 9 時 20 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 7 年 2 月 12 日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 神谷里枝



質 問 方 式 (○を付ける)		一問一答 ・一括の質問答弁	
番号	主 題		
1	財政健全化対策について		
2	地域公共交通について		
3			
4			
5			

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	財政健全化対策について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 担当者のご尽力にも拘らず、公共施設再配置基本計画や学校再編を始めとする各種計画も思うような進捗が図られていません。社会保障関係経費などを始めとする経常経費の増加に加え、老朽化した公共施設の改修など大型ハード事業による投資的経費の増額が見込まれる中、さらなる歳入増の必要性を感じます。 (質問の目的) 経常的経費削減にも限界があり、自主財源確保をさらに推進するため。 (質問事項) 1. 中期財政計画において、 ①税外収入の確保について、「観光・シティプロモーションを強化推進し、ふるさと納税の増収につなげる」とありますが、成果と今後の方針をお伺い致します。 ②資産の活用について、新居焼却場や白須賀幼稚園など現在使用されていない施設の利活用の進捗状況と今後の方針をお伺い致します。 ③財政情報の積極的な公表についての成果と課題をお伺い致します。 2. 国において「103 万円の壁」が議論中で未確定ではありますが、予測される税収減への対応として、現時点での市のお考えをお伺い致します。	

番号	主 題
2	地域公共交通について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 湖西市地域公共交通計画はまちづくりと連携し持続可能な運送サービスの提供確保に向け事業進捗が図られております。昨年 10 月からコーちゃんバスの運行経路の見直しや免許返納者への優遇措置も見直されたばかりですが、先日、新聞報道にて新たな取り組みの検討が報道されました。 (質問の目的) 1 月 31 日の新聞報道された内容と湖西市地域公共交通計画の整合性について確認するため。 (質問事項) 1. 「免許返納者への支援として乗り合いタクシーについて 1 回 500 円以下の利用料や月額制で乗り放題となる制度も検討している」とのことですが、詳細説明をお伺い致します。 2. 湖西市地域公共交通計画に大きな方針転換はあるのかお伺い致します。	

一 般 質 問 通 告 書

令和7年 2月 21日

前

午後 / 時 47分 受付

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和7年 2月 21日

湖西市議会議長 馬場 衛 様



湖西市議会議員 神谷里枝



質 問 方 式 (○を付ける)	☒ 一問一答 ・ ☐ 一括の質問答弁
番号	主 題
3	施政方針について

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
3	施政方針について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 地域医療の要である湖西病院の経営改善を一層進めていきたい。市からの多額な繰入金で成り立つ現状を変えていくことが最優先事項であり、新病院建設の構想も一旦中断する方針が公表されました。 (質問の目的) 市内外の医療機関との連携協定の進捗が図られる中、地域医療の要である湖西病院の方向性を確認するため。 (質問事項) 1. 基準外繰入金を削減する手段についてお伺い致します。 2. 老朽化対策をどのように進め、どのような状況になったら基本構想の再検討に入るのかお伺い致します。	

一 般 質 問 通 告 書

令和7年2月12日

前
午9時 26分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和7年2月12日

湖西市議会議長 馬場 衛 様



湖西市議会議員 土屋和幸



(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	☒ 一問一答 ・ ☐ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	障害者支援について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	障害者支援について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 障害者総合支援法が施行されて10年以上経ちます。細部まで支援され感謝していますが、気になる点があるためお伺いいたします。相談支援事業のサービス利用者は、市または指定相談支援事業者に相談し、面接によるアセスメントと障害者支援区分の認定後、サービス等利用計画を作成します。この相談を受ける相談専門員は、サービス事業者との連絡・調整等と年1回以上の利用者宅へ訪問及びモニタリングを継続的に行います。そうしたことを踏まえ、相談支援事業者のあり方についてお伺いいたします。 (質問の目的) 障害者のみなさんが地域で楽しく暮らせることを期待できるようにしたいため質問いたします。 (質問事項) 1. 市内在住の障害者の方々の内、障害者作業所で働いている人数を伺います。なお、人数は、市内のA型・B型、市外のA型・B型それぞれでお願いします。 2. 年1回以上のモニタリングは、誰がどのように実施しているのか教えてください。 3. 軽度の障害者はグループホームか自宅で生活しなければならず、生活圏域で環境が変わることで生活に困る場合がありますが、どのようにお考えですか。 4. 当初、相談支援事業者は障害者作業所に設けないとしていましたが、現在は作業所にあるのが当たり前になり、経営を圧迫して赤字経営になりかねない作業所がありますが、どのようにお考えか伺います。 5. 市社会福祉協議会は、赤字と相談員不足により相談支援事業から撤退しました。市と市社会福祉協議会の関係を伺います。	

6. 市内の相談支援事業者数および、受付可能人数以上の申し込みがあった場合の対応を伺います。また、湖西市が自ら相談支援事業者を設置する予定があるか伺います。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること